

乗合バス路線の一部区間の廃止に係る対応について【碓井・大分坑線】

(1) 全体路線図 【別紙資料1】 のとおり

・全体路線概要

運行区間	運行便数 (平日)	関係自治体
① 飯塚 ～ 桂川駅・嘉穂総合高校 ～ 西鉄大隈	3便	飯塚市、嘉麻市、桂川町
② 飯塚 ～ 桂川駅 ～ 西鉄大隈	24便	飯塚市、嘉麻市、桂川町
③ 飯塚 ～ 桂川駅 ～ 西牛隈	6便	飯塚市、嘉麻市、桂川町
④ 飯塚 ～ 桂川駅・吉隈 ～ 第二保育所前	22便	飯塚市、嘉麻市、桂川町
⑤ 飯塚 ～ 桂川駅 ～ 嘉穂総合高校	5便	飯塚市、桂川町

(2) 廃止路線

・廃止路線の概要

路線名	廃止区間	廃止距離 (k m)	廃止予定日
碓井・大分坑線	天道駅先 ～ 牛隈	10.72	平成30年10月1日
	土居別道 ～ 第二保育所前	3.94	
	桂川町役場 ～ 吉隈一区先	1.95	
1路線	3区間	16.61	

・収支状況(参考)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
輸送人員	324,050人	312,344人 (前年比 96.4%)	283,333人 (前年比 90.7%)
総収入	61,187千円	59,197千円 (前年比 96.7%)	57,352千円 (前年比 96.9%)
総経費	78,640千円	76,847千円 (前年比 97.7%)	76,028千円 (前年比 98.9%)
収支差	△17,453千円	△17,650千円	△18,676千円
収支率	77.8%	77.0%	75.4%

(3) 協議経過

平成29年6月30日

西鉄バス筑豊㈱「乗合バス路線の一部区間の廃止」を、福岡県バス対策協議会会長あてへ申し出。

廃止届提出日 平成30年3月30日

廃止日 平成30年9月30日

平成29年7月18日、9月13日

地方創生市町村圏域会議開催

平成29年10月6日、10月19日

飯塚市、桂川町、嘉麻市の担当者会議を実施

- ・今回廃止になる路線では、嘉穂総合高校への通学者への影響が大きいことを確認
- ・西鉄バスの運行について、減便での運行提案について協議

平成29年11月20日

地方創生市町村圏域会議開催

- ・飯塚市、桂川町、嘉麻市で協議した運行提案を西日本鉄道株式会社へ提案
- ・西日本鉄道株式会社より、収支バランスの問題だけでなく乗務員不足も深刻な課題である。
- ・継続するとしても、大幅な減便が必要であるとの説明
- ・西日本鉄道株式会社より、運行可能な提案を受けることで合意。

平成30年1月25日

地方創生市町村圏域会議

- ・西日本鉄道株式会社から提案あり

(提案内容)

- ・現在の確井・大分坑線は、バス5台、乗務員7名での運行であるが、乗務員の確保が難しいため、バス2台、乗務員2名での運行パターンの提示がある。

パターン	運行区間	運行便数
1	飯塚 ～ 桂川駅・嘉穂総合高校 ～ 西鉄大隈	8往復 (16便)
2	飯塚 ～ 桂川駅・(嘉穂総合高校)	15往復 (30便)

平成30年2月19日

飯塚市、桂川町、嘉麻市の担当者会議を実施

- ・パターン1で合意し、各自治体の地域公共交通会議へ諮る。
(桂川町は、地域公共交通会議なし)

平成30年3月15日

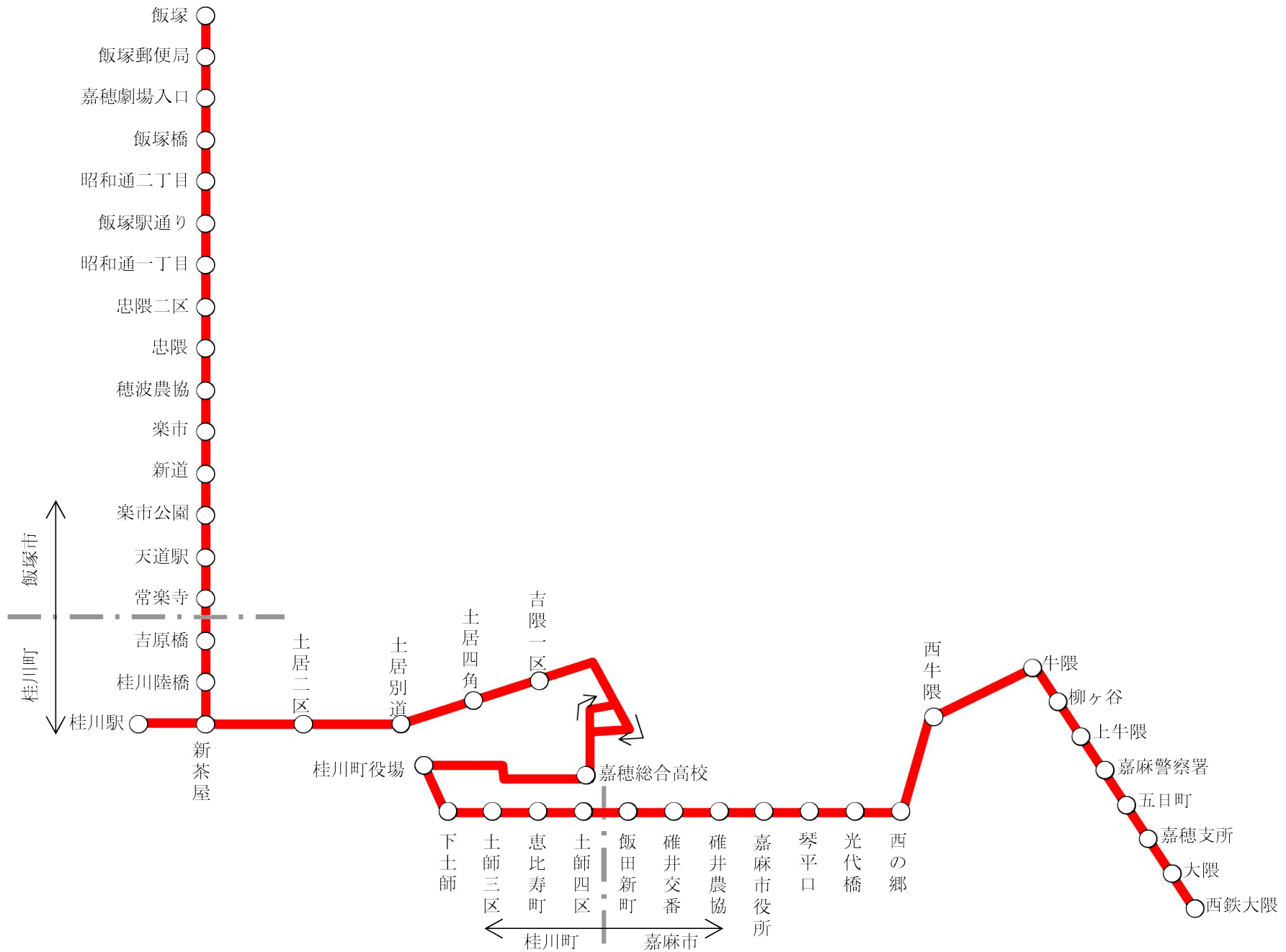
嘉麻市地域公共交通協議会へ

平成30年3月29日 (予定)

3月15日の決定を、福岡県バス対策協議会へ

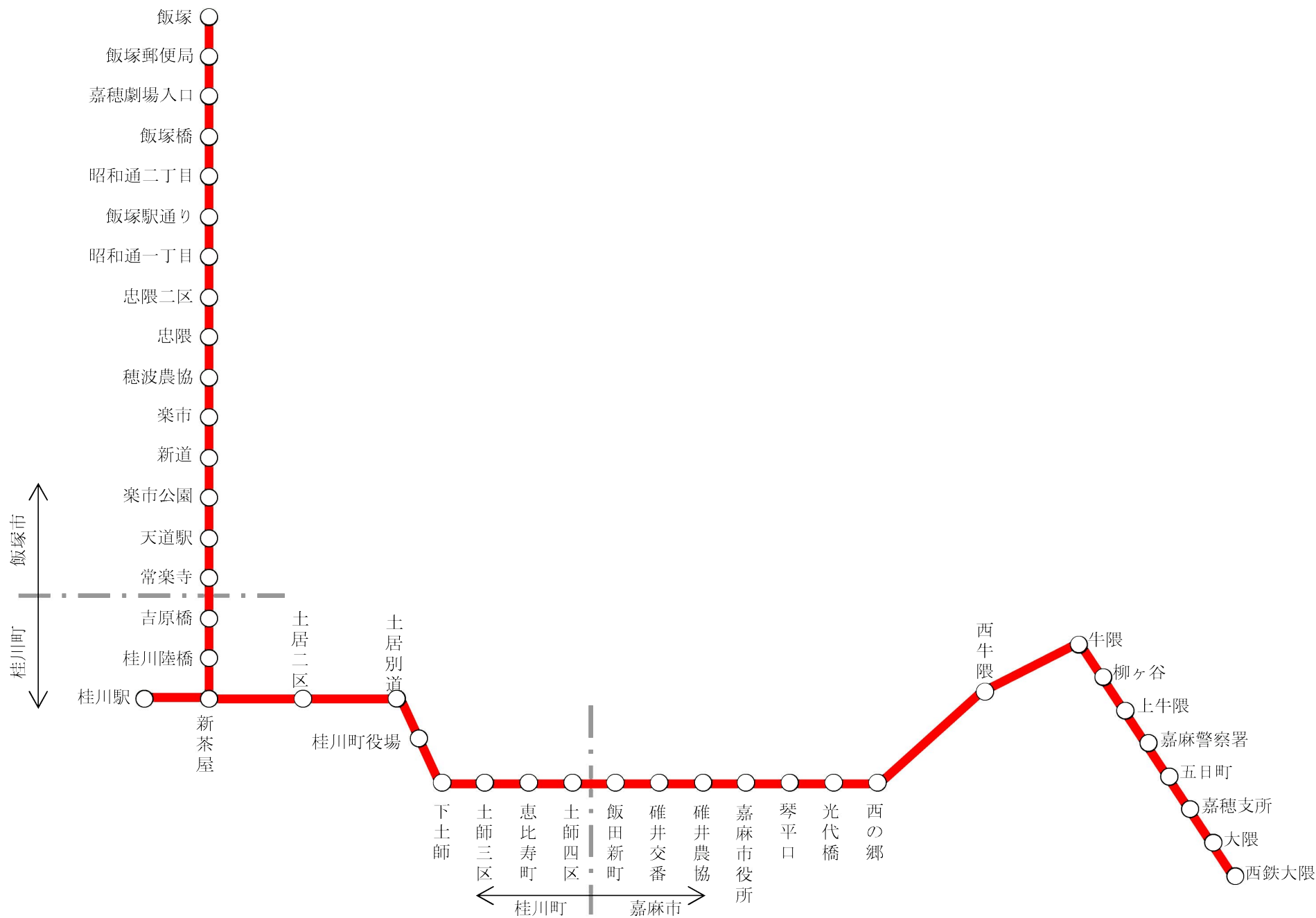
□ 碓井・大分坑線 (①飯塚バスターミナル～桂川駅 (嘉穂総合高校) ～西鉄大隈)

【別紙資料 1】



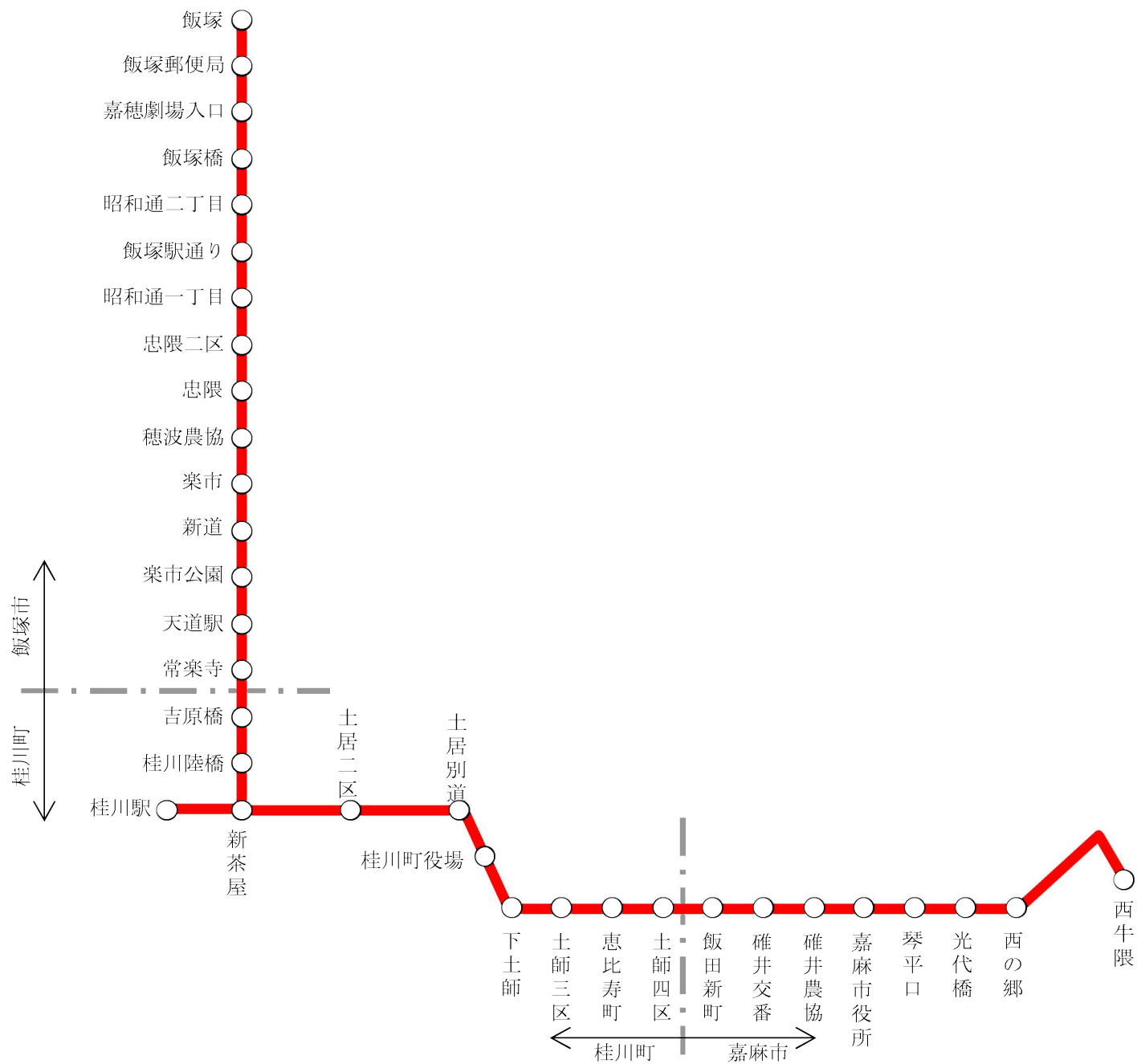
□ 碓井・大分坑線 (②飯塚バスターミナル～桂川駅～西鉄大隈)

【別紙資料1】



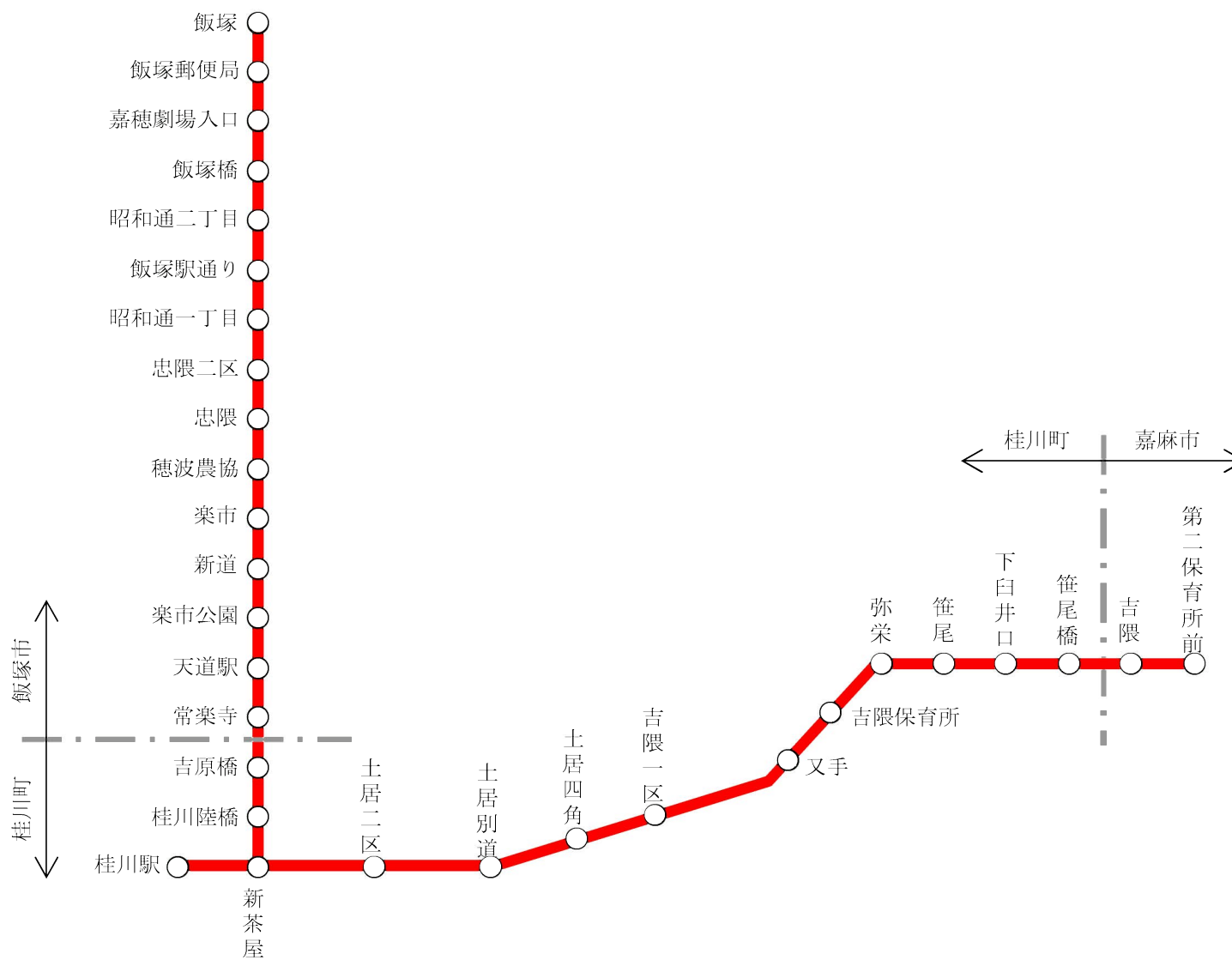
□ 碓井・大分坑線 (③飯塚バスターミナル～桂川駅～西牛隈)

【別紙資料1】



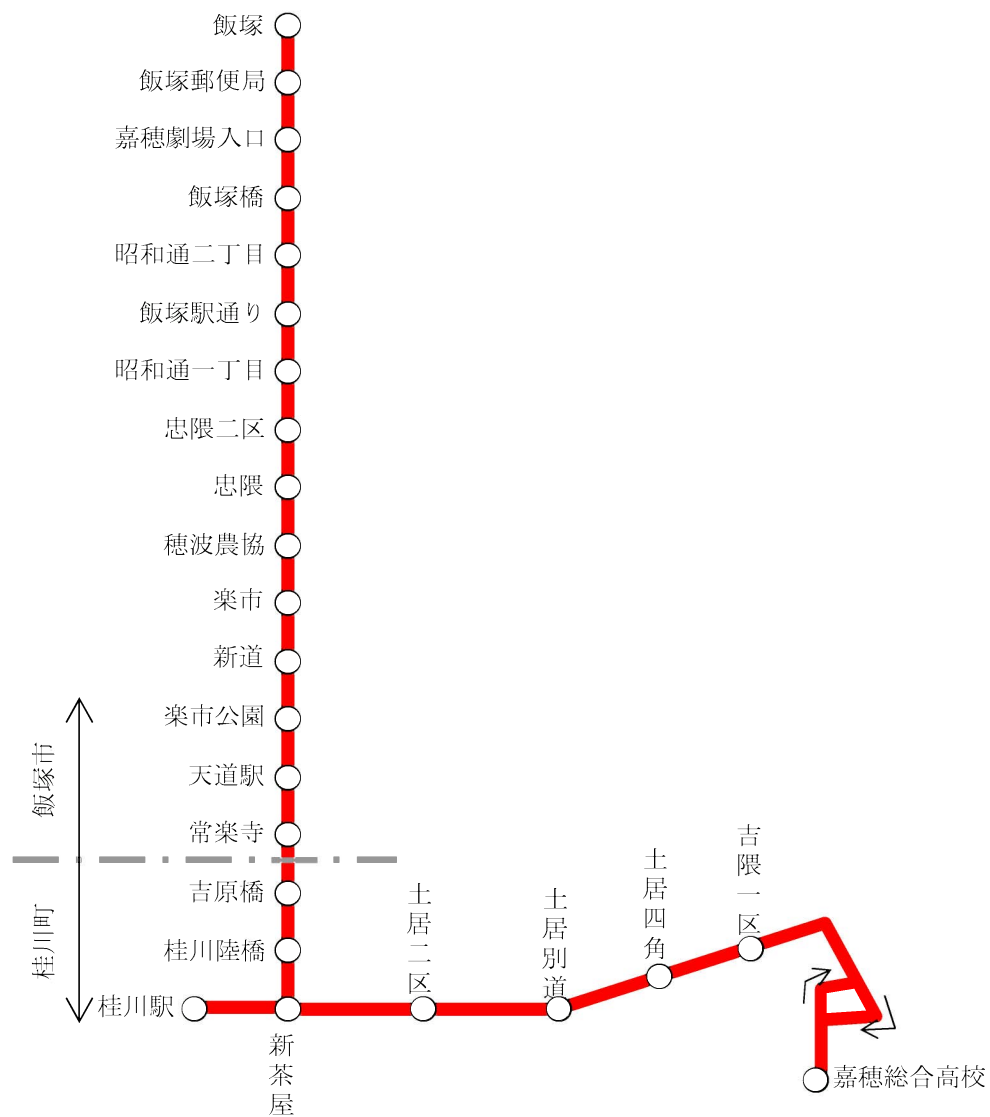
□ 碓井・大分坑線 (④飯塚バスターミナル～桂川駅～第二保育所前)

【別紙資料1】



□ 碓井・大分坑線 (⑤ 飯塚バスターミナル～桂川駅～嘉穂総合高校)

【別紙資料1】



碓井・大分坑線のこれまでの流れ

西鉄バス

- ・27番と28番の2系統
- ・1日30往復60便
- ・恒常的な赤字運行
- ・赤字幅も年々上昇

路線維持の限界と判断

廃止の申出 (H29. 6. 30)

何もしなければ、運行便数は0(ゼロ)に！
※嘉麻市から桂川駅に行く西鉄バスがなくなる。
(廃止予定日 平成30年10月1日)

申し入れ等に対する回答

乗務員不足という現状から、現在運行している便全てを残すことは困難であるとし、便数を削減した複数パターンの運行案を2市1町に提案。
※赤字補填は必要。

嘉麻市

- ・県バス対策協議会を通じて存続要望を行い続けてきた。
- ・広報等でバスの利用促進に向けた記事の掲載を行ってきた。

《理由》

「**輸送人員減少**による赤字幅の上昇」 + 「**慢性的な乗務員不足**」

飯塚市・桂川町と2市1町で対応について協議。
路線を維持することで決定。

飯塚市・桂川町と2市1町で運行継続を申し入れ。
「赤字補填をしてでも運行の継続をしてほしい。」

その他様々な西鉄への要望活動

複数パターンの提案を受け、2市1町で協議中。

- ・運行パターン
- ・赤字補填負担割合 等